

デーヴォ ガイド



2023.10.30-11.5

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合いましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合いましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

6:10 終わりに言います。主にあって、その大能の力によって強められなさい。

6:11 悪魔の策略に対して強く立つことができるように、神のすべての武具を身に着けなさい。

6:12 私たちの格闘は血肉に対するものではなく、支配、力、この暗闇の世界の支配者たち、また天上にいるもろもろの悪霊に対するものです。

6:13 ですから、邪悪な日に際して対抗できるように、また、一切を成し遂げて強く立つことができるように、神のすべての武具を取りなさい。

6:14 そして、強く立ちなさい。腰には真理の帯を締め、胸には正義の胸当てを着け、

6:15 足には平和の福音の備えをはきなさい。

6:16 これらすべての上に、信仰の盾を取りなさい。それによって、悪い者が放つ火矢をすべて消すことができます。

6:17 救いのかぶとをかぶり、御霊の剣、すなわち神のことばを取りなさい。

地上に住む限りは、様々なこと、色々な分野、あらゆる人々と競い合わなければなりません。時には、自分は戦っていると思うこともあるでしょう。しかし、そのような現実の中にあっても、聖書は「格闘は血肉に対するものではなく」と言っています。

すべてを良きにしてくださるのは主であり、勝利を与えてくださるのは主であり、また本当の幸いをくださるのも主です。ですから私たちは、この世と関わりつつ、その背後に働いて支配しておられる主との関係が大切です。そしてその主との関係を妨げようとするのが、サタンとその配下にある悪霊ですから、私たちの格闘は「悪霊に対するもの」なのです。

ですからここに記されている武具を身に着けましょう。あなたにとっては何が一番必要でしょうか。「身に着ける」ということは、実際に使えるようにすることです。「真理」「正義」「福音」「信仰」「救い」「神のことば」を、いざというときのために、日頃から使えるようにしておきましょう。主とともに歩むなら、それらを使う必要が生じます。これらを武器と認識して、用いてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



31日 火曜

エペソ



6:18 あらゆる祈りと願いによって、どんなときにも御霊によって祈りなさい。そのために、目を覚ましていて、すべての聖徒のために、忍耐の限りを尽くして祈りなさい。

6:19 また、私のためにも、私が口を開くときに語るべきことばが与えられて、福音の奥義を大胆に知らせることができるように、祈ってください。

6:20 私はこの福音のために、鎖につながれながらも使節の務めを果たしています。宣べ伝える際、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。

6:21 私の様子や私が何をしているかを、あなたがたにも分かってもらうために、愛する兄弟、主にある忠実な奉仕者であるティキコがすべてを知らせます。

6:22 ティキコをあなたがたのもとに遣わすのは、ほかでもなく、あなたがたが私たちの様子を知って、心に励ましを受けるためです。

6:23 信仰に伴う、平安と愛が、父なる神と主イエス・キリストから、兄弟たちにありますように。

6:24 朽ちることのない愛をもって私たちの主イエス・キリストを愛する、すべての人とともに、恵みがありますように。

祈りの大切さ、アドバイス、リクエストが記されています。

聖霊によって祈ることが大切です。聖霊様に働いてくださいと願うことが第一歩です。そのような祈りから始められた祈りは、聖霊様に導かれていると確信しましょう。また聖霊様の促しを感じたら、即座に従いましょう。それが聖霊によって祈ることであり、礼拝や奉仕や日常生活にもいえることです。

パウロは信仰の勇者でした。だからといって祈りがなくても勝利したわけではありません。だからこそ祈りのリクエストをしています。私たちは自分だけで戦ってはいないでしょうか。または自分だけで我慢して自己満足していないでしょうか。勝利が神の共同体、特にキリストの体である教会のものとなってこそ、信仰の勇者です。

自分の目的のための祈りも良いですが、何よりも「語るべきことを大胆に」というような、主の使命のための祈りは尊いものです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1日 水曜

箴言

10:1 ソロモンの箴言。知恵のある子は父を喜ばせ、愚かな子は母の悲しみとなる。
10:2 不義によって得た財宝は役に立たない。義のわざは人を死から救い出す。
10:3 【主】は正しい人を飢えさせず、悪しき者の欲を突き放される。
10:4 無精者の手は人を貧乏にし、勤勉な者の手は人を富ませる。
10:5 夏のうちに集める者は賢い子。刈り入れ時に眠る者は恥知らずな子。
10:6 正しい人の頭には祝福があり、悪しき者の口は不法を隠す。
10:7 正しい人の呼び名は祝福となり、悪しき者たちの名は朽ち果てる。
10:8 心に知恵のある者は命令を受け入れ、無駄口をたたく愚か者は滅びに落ちる。
10:9 誠実に歩む者の歩みは安全だが、自分の道を曲げる者は思い知らされる。
10:10 目で合図する者は人に痛みをもたらし、無駄口をたたく愚か者は滅びに落ちる。
10:11 正しい人の口はいのちの泉。悪しき者の口は不法を隠す。
10:12 憎しみは争いを引き起こし、愛はすべての背きをおおう。
10:13 悟りのある者の唇には知恵があり、良識のない者の背中にはむちがある。
10:14 知恵のある者は知識を蓄える。愚か者の口には滅びが迫る。
10:15 富む者の財産はその人の堅固な城。貧しい者の恐れは自らの貧困。
10:16 正しい人の報酬はいのち。悪しき者の収穫は罪。



深い子、まっすぐに歩む者、愛、悟りのある者、などのよきことが述べられていますが、特に正しい者について多く書かれています。

それらは、父を喜ばせ、人を死から救い出し、飢えることがなく、人をも富ませ、祝福があり、その呼び名はほめたたえられ、安全であり、その口がいのちの泉となり、すべての罪をおおい、知識をたくわえ、報酬としていのちを得ることができるとあります。

ここにあるように、本当の知恵とは正しく生きることであり、揺るぎない幸せは正しく生きる者に与えられるのです。

正しく決断して、正しく選択して、正しく行動しているでしょうか。自分に関して、このみことばから何か警戒が与えられるような点はないでしょうか。吟味してみましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



2日 木曜

箴言



10:17 訓戒を大事にする者はいのちへの道にあり、叱責を捨てる者は人を迷わせる。
10:18 憎しみを隠す者は偽りの唇を持ち、そしりを口に出す者は愚かな者である。
10:19 ことば数が多いところには、背きがつきもの。自分の唇を制する者は賢い人。
10:20 正しい人の舌は選り抜き銀。悪しき者の心は無価値に等しい。
10:21 正しい人の唇は多くの人を養い、愚かな者は良識がないために死ぬ。
10:22 人を富ませるのは【主】の祝福。人の苦勞は何も増し加えない。
10:23 愚かな者には悪事が楽しみ。英知のある者には知恵が楽しみ。
10:24 悪しき者の恐れることはその身に降りかかり、正しい人の望むことはかなえられる。
10:25 つむじ風が過ぎ去ると、悪しき者はいなくなる。正しい人は永遠の礎である。
10:26 怠け者は、これを遣わす者にとって、齒に酢、目に煙のようなもの。
10:27 【主】への恐れは日数を増やす。悪しき者の年は短くなる。
10:28 正しい人の望みは喜び。悪しき者の期待は消え失せる。
10:29 【主】の道は、誠実な人には砦、不法を行う者には滅びである。
10:30 正しい人は永遠に揺るがされることがない。しかし、悪しき者は地に住むことができない。
10:31 正しい人の口は知恵を突らせる。しかし、ねじれた舌は抜かれる。
10:32 正しい人の唇は好意を知っており、悪しき者の口はねじれごとを知っている。

訓戒を大切にするか、そうでないか…、ことばにおいて思慮があって自制がきくか、そうでないか…がその人の人生を大きく左右することが分ります。箴言は、人生の訓戒であって、信仰とは関係ないかのように思えますが、「主の祝福そのものが…」とあるように、これは明かに信仰の視点に立ったものです。

箴言の格言は、主の祝福をいただくためであり、またその原動力は、主からの聖霊によるものです。主からの祝福はもう備えられています。それは十分であり、最高のものです。それに何も加える必要はないほどなのです。神なしで手に入れるような、自分の頑張りによるのではなく、神様からの祝福をもらいましょう。

23節からは正しい者と悪者の対比が述べられています。正しい者の系列の中に、「主を恐れること」があることに注目しましょう。主を恐れるならば主に聞き従いますから、当然正しい生き方になってゆくのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



3日 金曜

箴言



11:1 欺きの秤は【主】に忌み嫌われ、正しい重りは主に喜ばれる。
11:2 高ぶりが来れば、辱めも来る。知恵はへりくだる者とともにある。
11:3 直ぐな人の誠実は、その人を導き、裏切り者のよこしまは、その人を破滅させる。
11:4 財産は御怒りの日には役に立たない。義のわざは人を死から救い出す。
11:5 誠実な人の義なるわざは、その人の道を平らにし、悪しき者は、自分の悪事によって倒れる。
11:6 直ぐな人は、その正しさによって救い出され、裏切り者は、自分の欲によって捕らえられる。
11:7 悪者が死ぬとき、その望みは消え失せ、財力への期待も消え失せる。
11:8 正しい人は苦しみから救い出され、彼に代わって悪しき者がそれに陥る。
11:9 神を敬わない者は、その口によって友を滅ぼし、正しい人は、知識によって助け出される。
11:10 町は、正しい人の繁栄に小躍りし、悪しき者が滅びると、喜びの声をあげる。
11:11 直ぐな人の祝福によって、町は高く上げられ、悪しき者の口によって、破壊される。
11:12 隣人を蔑む者は良識がない。英知のある者は沈黙を守る。
11:13 人を中傷して回る者は秘密を漏らす、霊が忠実な人は事を秘める。
11:14 指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。
11:15 他人の保証人になると苦しみにあう。保証を嫌う者は安全だ。

欺きのはかり、高ぶり、裏切り者などはみな、自分中心から来ています。自分のことしか考えないのだから、自分にとって得になることを求めているはず。しかしその結果は、「主に忌みきらわれ」て「恥」であり、「破滅」です。目の前の小賢しい浅知恵に走らないように、主のみこころをいつも考えるようにしましょう。

「潔白な人」や「直ぐな人」は、自分の正しい行いに確信を持ちましょう。主は生きておられます。誤解されても主のさばきや解決に委ねることが得策です。

7節からは、悪者と周囲との関係が述べられています。人間とコミュニティーとの関係問題を抱えていたら、このみことばを思いなが祈ってみると良いでしょう。

12節からは人間生活の具体的な訓戒が書かれています。自分に関係しているところはないか、祈りつつ考える必要がありそうです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



4日 土曜

箴言

11:16 優しい女は誉れをつかみ、横暴な者は富をつかむ。
11:17 誠実な人は自分のたましいに報いを得るが、残忍な者は自分の身にわざわいをもたらす。
11:18 悪しき者は偽りの報酬を得るが、義を蒔く者は確かな賃金を得る。
11:19 実に、義を追い求める者はいのちに至り、悪を追い求める者は死に至る。
11:20 心の曲がった者は【主】に忌み嫌われ、まっすぐな道を歩む者は主に喜ばれる。
11:21 悪人が罰を免れることは決してない。正しい人の裔は救いを得る。
11:22 豚の鼻にある金の輪。美しいが、たしなみのない女。
11:23 正しい人の願いは、ただ良いこと。悪しき者の望みは、激しい怒り。
11:24 気前よく施して、なお富む人があり、正当な支払いを惜しんで、かえって乏しくなる者がある。
11:25 おおらかな人は豊かにされ、他人を潤す人は自分も潤される。
11:26 穀物売り惜しむ者を民は呪う。しかし、それを売る者の頭には祝福がある。
11:27 熱心に善を求める者は恵みを慕い求める。悪を求める者には悪が来る。
11:28 自分の富に抛り頼む者は倒れ、正しい人は若葉のように芽を出す。
11:29 自分の家族にわざわいをもたらす者は、風を相続し、愚か者は、心に知恵のある者のしもべとなる。
11:30 正しい人の結ぶ実はいのちの木。知恵のある者は人の心をとらえる。



11:31 正しい人が地で報いを受けるなら、悪しき者や罪人はなおさらのこと。

16節は解釈が難しいですが…横暴な者は富のような消えるモノしか手に入れられないが、優しい人はそれが女性のように弱い立場であったとしても、誉れという決して消えない価値を手に入れることができるのだ…という意味に解釈されます。

ここでは富には価値が置かれていません。むしろ誉れある者が幸せであるということです。神様の価値観では、誉れは神様から与えられるものであり、富は消えて行くものであり、富と神と両方に仕えることはできないと、イエス様は言っておられます。

悪者や心の曲がった者は偽りや罰が報いであるが、義を蒔く者や正しい者は確かな賃金や救いという良いものを得ることができます。

「美しいがたしなみのない女」にならないようにしましょう。また「人を潤す者は自分も…」とあります。心が渴いていると感じているなら、それは周囲が冷たいだけでなく、自分が周囲に冷たかったのかも知れません。

26節からは、仕事に適用できるでしょう。29節からは家族や子孫に関しての価値観に適用できるでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主に扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



5日 日曜

箴言

12:1 訓戒を愛する人は知識を愛する。叱責を憎む者は間抜け者。
12:2 善人は【主】から恵みをいただき、悪を企む者は不義に定められる。
12:3 人は悪で身を堅く立てることはできない。正しい人の根は揺るがない。
12:4 しっかりした妻は夫の冠。恥をもたらす妻は、夫の骨の中の腐れのようなだ。
12:5 正しい人の考えは公正。悪しき者の助言は欺瞞。
12:6 悪しき者のことばは血に飢え、心の直ぐな人の口は自分を救い出す。
12:7 悪しき者は打ち倒されて、いなくなる。しかし、正しい人の家は立ち続ける。
12:8 人はその賢明さによってほめられるが、心のねじけた者は蔑まれる。
12:9 身分が低くても、しもべを持つ者は、高ぶっていて食に事欠く者にまさる。
12:10 正しい人は、自分の家畜のいのちを知っている。悪しき者は、そのあわれみさえ残忍である。
12:11 自分の畑を耕す者は食に満足するが、空しいものを追い求める者は良識がない。
12:12 悪しき者は悪人たちの分捕り物を欲しがるが、正しい人の根は芽を出す。
12:13 悪人は唇で背いて罠にかかる。正しい人は苦しみから逃れ出る。
12:14 人は、口のことばによって良いものに満ち足りる。人の手の働きはその人に報いをもたらす。
12:15 愚か者には自分の歩みがまっすぐに見える。しかし、知恵のある者は忠告を聞き入れる。



12:16 愚か者は自分の怒りをすぐ表す。賢い人は辱めを気に留めない。

人は「訓戒」されたりすると、自分の価値を下げるような感じがして、聞きたくないし否定したくなります。しかしそれを「愛する」必要があります。それは自分が成長し、正しく歩む恵となるからです。

妻は夫の「冠」のような誉れになってこそ幸せになれます。また夫も同じでしょう。妻を幸せにしてこそ夫も幸せになれます。

「自分の道を正しいと思う」のは知恵のある人と考えられるでしょうが、実際は違います。自分が正しいと考える人は、柔軟な考えができません。また人の助言を受け入れることができません。そのような人を「愚か者」と言っています。常に謙遜でありましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

